



# 人権教育だより R7第3号

令和7年(2025年)9月26日

鹿本農業高等学校

人権教育主任 野尻 貴輝

## ～言語環境を整え、1人ひとりが輝く学校づくり～

2学期も始まり1ヶ月経ちました。残暑が厳しく、ようやく涼しくなってきた気がします。2学期は、鹿農祭など行事ごとが多くあります。日常とのバランス、また心身のバランスを整えながら、過ごしていきましょう。

### 1年生「外国人の人権」(8月28日)

多文化共生社会に向けて、何が必要かグループで話し合い、学びました。

- ・言葉や文化が違うという理由で偏見や差別をしないようにしようと思いました。
- ・普段話さない人とグループになり、話し合いしたことによって、少し成長できたと感じました。
- ・自分から相手に歩みよることが大切なと思いました。

### 2年生「災害と人権」(8月28日)

「災害弱者」への配慮や支援を学び、避難所のルール作りなどをグループで話し合いました。

- ・いつ災害が起こり、大変な生活になるかわからないから準備をしておくことが大切と知りました。
- ・今後被災した時に周りのケアや人々への思いやりを頑張り、日ごろからそれを意識してきたい。
- ・私たちにできることを班の人と考えることができて、いろんな立場になって考えることの大切さを知った。

### 3年生「言わない、書かない、提出しない」取組み(7月17日)

就職選考などにおける違反質問について、背景や対応の方法を学びました。

- ・模擬面接の場面を見てどれが違反質問なのかをしっかり考えることができ、なぜ取り組みをするのかや違反質問を受けた場合の考え方や対応のしかたを学ぶことができた。
- ・アルバイトの面接で緊張していて覚えていないけれど、もしかしたら言っていないのか不安になりました。違反質問をされて気づかずに答えてしまわないように気をつけたいですが、もし言ってしまったとしてもその時は先生に相談しようと思います。
- ・違反質問は差別に繋がることが分かりました。また、違反質問は今でもなくなっていないことがわかり、自分の事として考えていくようにしたいと思いました。

### 人権コラム「距離を取るとは、、、」

最近、ちょっとしたすれ違いで仲違いをする話をよく聞きます。SNSや人づての話など、真偽不明な情報に、悲しんだり、怒ったりしながら、その相手と関わらないようにしていきます。確かに、クールダウンなど、距離を取ることにより、冷静になれることもあります。しかし、気になるのは、その後の関わりです。距離を取ったまま、相手に不満を持ち、周りはどうすればよいかわからず、なんとも言えない状況になることもあります。一方、話してみることで、誤解が分かったり、お互いに謝ったりすることで、すっきりすることもあります。私たちは、インターネットなど便利な世の中を生きていますが、ややもすると窮屈な生き方になっているのかもしれません。距離をとることも大切ですが、気になったことは、お互いを分かってくれる人を交えて、話をしてみませんか。

### ◎人権講話のご案内◎

日時 令和7年(2025年)10月30日(木)14:00~15:00

テーマ「ハンセン病回復者及びその家族の人権」 講師 中修一さん

○事前学習を10月6日(月)から10日(金)朝読、朝学習の時間にて実施します。

○講話は保護者の方も参観できますので、ご都合がよろしければお願ひします。

